

HAMANETSU

高性能小規模合併処理浄化槽

KGX 型 (脱窒型) 5~10人槽

施工要領書

本書は、施工する前に、必ず『ハマネツ浄化槽 施工説明書』と併せてお読みになってから、施工するようにして下さい。

いつでも使用できるように大切に保管して下さい。

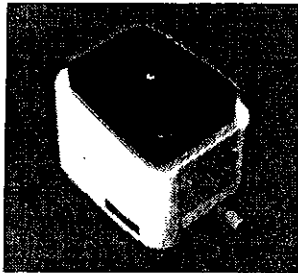


株式会社 **ハマネツ**

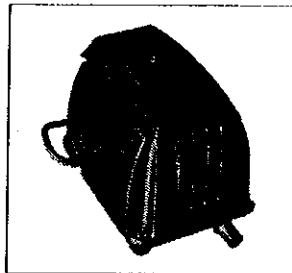
下記の電気関係の作業については、必ず電気工事士の資格を持った方に依頼して下さい。

I. 電気関係付属部品の確認

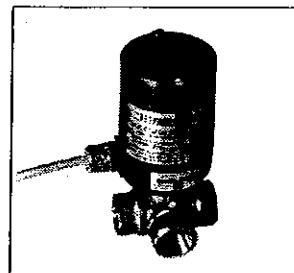
下の写真の付属部品の有無を確認して下さい。(それぞれの箱から取り出した状態)



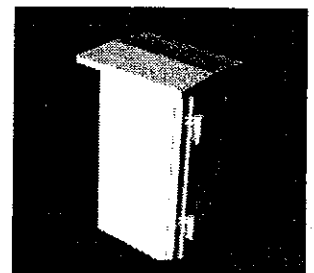
■散気逆洗用ブローワー
【LP型】



■循環放流用ブローワー
【NJ型】



■電動弁



■制御盤

II. 電気関係付属部品の取付と調整

1. 電源の確認

AC100V電源が、以下の通り、3つ必要となります。事前に屋外用三つ口のコンセントを準備して下さい。

- ①制御盤電源 ②散気逆洗用ブローワー電源 ③循環放流用ブローワー電源

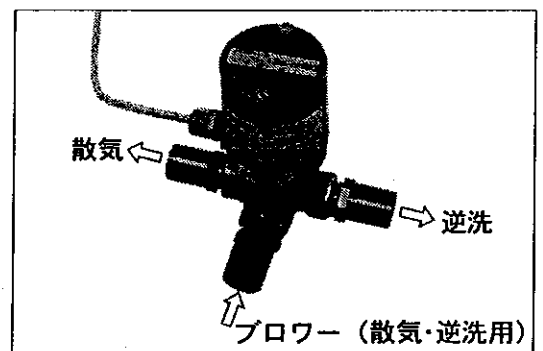
2. ブローワの据付

2台のブローワーをそれぞれ箱から取り出し、基礎に据え付けます。

3. 電動弁の取付

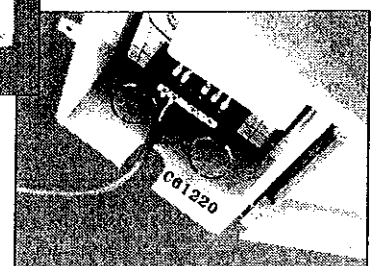
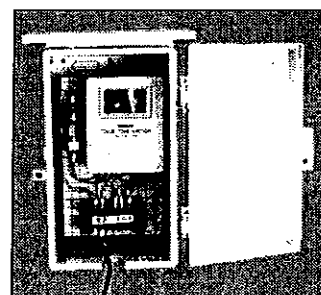
電動弁を箱から取り出し、バルブソケットを使って右の写真のように取付ます。

その際、バルブソケットのネジ部には、シールテープを巻いてから取り付けて下さい。



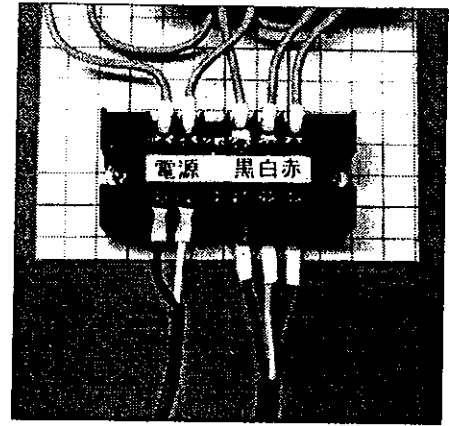
4. 制御盤の取付

- ①制御盤を箱から取り出します。
- ②制御盤の蓋を開け、右図の取付穴4点を使って、壁にしっかり固定します。(その際、必ず壁材に合ったネジをご使用下さい。)
- ③制御盤内に収納されている電源コードを、制御盤の底穴から外に出し、コンセントにしっかり差し込んで下さい。



5. 電動弁のコードの接続

電動弁から出ているコードを、右図のように、制御盤端子台に接続します。その際、端子台に表示されている色に合わせて接続して下さい。尚、コード側の端子は、必ず端子台のネジの下にあるワッシャーの下に差し込んで下さい。



III. 試運転、調整

1. 結線の確認

制御盤、ブローアの電源プラグがコンセントに差し込まれていることを確認して下さい。

- ① 制御盤・・・盤内のタイマーの電源ランプが点灯していることを確認します。
- ② ブローア・・・作動していることを確認して下さい。(音で判断して下さい。)

2. 散気、逆洗バルブの開閉の確認

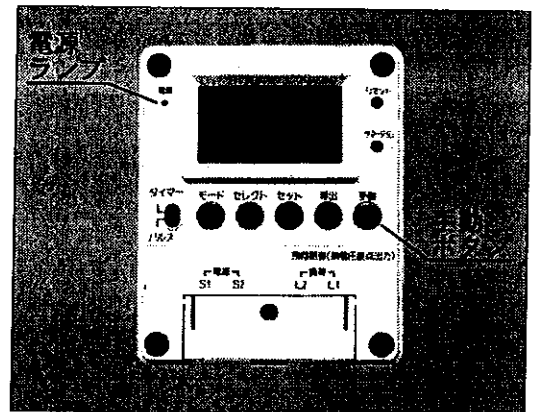
青色の散気バルブ、赤色の逆洗バルブとも「全開」とします。黄色の空気調整バルブで吐出量を調整し、左右のバランスを散気バルブで調整します。

3. 手動逆洗動作の確認

制御盤内のタイマーのカバーを外し、手動ボタン(青色)を数秒押し続けます。電動弁が散気から逆洗に切り替わり、5分間逆洗した後、自動的に散気状態へ復帰します。

出荷時にタイマーの時刻はセットされています。自動逆洗は、毎週土曜日午前0:00(5分間)に設定されています。

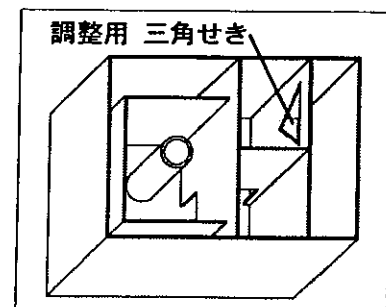
※設定に関する詳細は、タイマーの取扱説明書をお読み下さい。



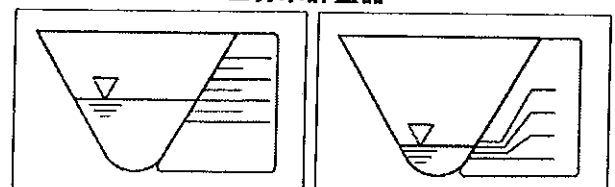
4. 循環、定量移送(放流)水量の調整

事前に槽内に低水位線以上、水張りがされていることを確認して下さい。

- ① エアリフトバルブを約40%開き、揚水します。
- ② 実使用人員の水位線表示に水面が合うように、三角せきの高さを調整します。
(実使用人員が分からない場合は、人槽に合わせて下さい。)
- ③ 常時少量の水がオーバーフロー管から出るように再度エアリフトバルブを調整して下さい。



■分水計量器



■循環用

■定量移送(放流)用

配線・配管図

プロワの接続型式

人槽	5人	6人	7人	8人	10人
散気/逆洗用	60	80	80	100	120
循環/放流用	30				

